



## 「憧れの先生のようにになりたい」願いを実現するために

藍川東中学校 長尾 亮

◇今回は、長尾亮さん（京都教育大学卒、藍川東中学教員）のレポートです！

「先生になりたい」という気持ちを抱き始めたのは小学生の頃。毎日の学校が楽しくて、漠然と、このままずっと学校で生活していたいな。そんな気持ちで毎日を過ごしていたのを覚えています。中学校になると、素敵な先生方との出会いがありました。学級開き、一生懸命な歌を披露してくれた先生。学年集会、泣きながら叱ってくれた先生。体育大会、全身同じ色で揃えた服で、応援団の誰よりも声を枯らした先生。そんな自分たち生徒のために本気になれる大人に憧れを感じ、教員への道を進むことを決意しました。

それ以降、様々な選択をする際には「憧れの先生のようにするには、どうすればよいか」という確かな判断基準がありました。その願いを実現するためには、教員採用試験に合格しなければならない。そのためには、教育を専門として勉強できる国立の教育大学に行きたい。そのためには、センター試験・2次試験で高い点をとらないといけない。そのためには、切磋琢磨できる仲間と共に、高いレベルで学ぶことが出来る関高校に入りたい。そう考えて、進路選択をしました。

高校のバレー部では、「自分たちで考え、自分たちで創る力」がつかえました。私の高校時代は専門のコーチや先生がおらず、練習のメニューから試合中の采配まで、選手だけで行っていました。何が課題で、その解決のためにどんな練習をしたらよいのか。自分たち次第でどれだけでも強くなる。自分たちの可能性を自分たちで切り開く。そんなワクワク感と充実感が、たまらなく楽しかったことを覚えています。

また、毎日の授業の中で、勉強の楽しさを教わりました。現在でも関高校で活躍されている地歴公民科のA先生。A先生の日本史の授業は豊富な知識と巧みな話術で歴史を紐解きます。自分の知らなかった真実を知った時。自分の知識が繋がり、理解できた時。自分の考えが確かなものになった時。そんな学ぶ楽しさを教えて下さいました。

大学は京都教育大学に進学しました。日本史の半分は京都が舞台。その地で学び、自分の言葉で歴史を語りたい。そんな願いから大学を選択しました。休日や大学の授業が午前中で終わった時は、カメラを持ってお寺や神社などの史跡に向かいます。大学の4年間で関西方面の教科書に載っている寺社仏閣は、ほとんど制覇したと思います。歴史の息吹を肌で感じ、感動を得ました。教員になった今、生徒たちに自分で撮った写真を見せながら話をすると、目の色を輝かせながら話を聞いてくれます。

学ぶことの楽しさと自分たちで創る充実感を、今度は自分が伝える番です。

教員になって2年がたちました。現在では担任を持ち、女子バレー部の顧問をしています。毎日の授業はもちろんの事、生活ノート・自主学習ノートチェックに、生徒の悩み相談。朝練、放課後は部活指



大学の仲間と 出雲大社にて

導。生徒が帰ってからは、生徒指導交流や提案資料の作成、もちろん定期テストの作成や成績処理も仕事の1つです。その中でも私が最も力を入れているのは、教材研究です。中学校の教員は週に20時間の授業を行います。1時間の授業を行うために、多くの時間を使って計画、準備をします。まず、単元を通して生徒に身につけてほしい見方や考え方を設定し、そのための1時間の内容を考えます。授業の導入では、生徒にとって学習する必然のある課題設定を心掛けます。生徒自身に「なぜだろう」という疑問や「知りたい」と思う動機がなければ、生徒の主体的な学びにはなりません。

これまでの授業での課題の例を紹介します。

- |    |  |
|----|--|
| 歴史 | 「サルはどのようにヒトになったのだろう」<br>「頼朝が義経を許さなかったのはどうしてだろう」                  |
| 地理 | 「イギリスはなぜEU離脱をきめたのだろう」<br>「東大阪市の中小企業がまいど1号を打ち上げることが出来たのはなぜだろう」    |
| 公民 | 「選挙に行かないという若者に、選挙に行こう！と説得しよう」<br>「過労死にってしまったのは、どんな問題があったからなのだろう」 |

#### 毎日の授業風景

生徒の疑問や問題意識を持たせるためには、どのような資料が必要か、常に生徒目線で教材研究を行います。その後の展開では、授業のゴールを意識しながら、生徒の発言や認識をイメージします。生徒の資料追及のためには、どの資料を使うか。文書資料では、表現はわかりやすいか、必要な内容が読み取ることが出来るか、1文字1文字までこだわって推敲することもあります。意見交流の場面では、どの立場になって、何について話せばいいか視点を与えます。発問の仕方によって、



生徒の発言も、学習の深まりも全く変わってきます。よい授業の導入では、生徒の目が輝いています。よい授業の展開では、生徒が生き生きと自分の考えを交流します。そんな「学ぶことが楽しい」と感じてくれる様子を見たい。その一心で毎日の教材研究に励んでいます。

「憧れの先生のようにになりたい」と願った学生時代。これまでの積み上げた知識と経験、力が今の私の教員としての原動力です。

今、問題となっているように、先生の仕事は確かに忙しい。ですが、一緒に笑い、一緒に泣き、一生懸命な生徒の姿に元気をもらいます。温かい心の繋がりを感じた時、何ともいえない充実感を得ます。子ども達の成長を感じたとき、心から「先生になってよかった」と思います。これからも「学ぶ楽しさ」を伝え、「生徒たちのために本気になれる」憧れの先生の背中を追い続けます。

後輩となるみなさん、夢や願いを持って、全力で学生時代を謳歌してください。近い将来、教員として一緒に働くことが出来たら嬉しいです。みなさんの活躍に期待しています。